



TOPICS!
トピックス

p2 新役員体制のご紹介

p4 金原・鈴金HS農業推進協議会の取組み

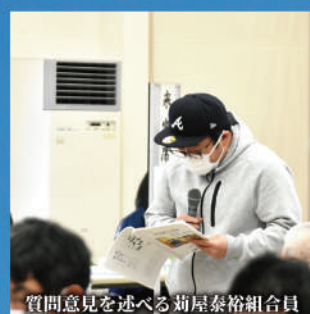


JA今金町公式 YouTube チャンネル登録・高評価お願い致します!

第56回通常総会開催



【議長】
安藤拓也組合員 中野公郎組合員



質問意見を述べる新屋泰裕組合員



質問意見に答える小田島親守組合長



質問意見を述べる土橋龍二組合員

4月3日、今金町民センターにおいて今金町農業協同組合第56回通常総会を開催致しました。本総会では事業報告、剰余金処分案、事業計画、賦課金の賦課、役員を選任など7つの議案が上程され、すべての議案が可決されました。

令和6年度は第13次中期経営計画の中間年であり、その柱となる5つの基本方針「農業所得の増大・生産基盤の確立」「地域における生活基盤の安定」「人づくり（組合員、役職員）」「JAの健全な財務体質の確立、JAの収支の安定確保」「JAに対する地域住民理解の醸成」の着実な実施が、未来に向けたより良い地域農業の確立に繋がっていくものと考えます。

本総会の議事では組合員の皆様から、前向きな質問意見を頂戴しました。諸課題への対応や基本計画の着実な実行にあたっては役職員だけの力で臨むことは困難です。組合員は「出資者」運営参画者「事業利用者」の三位一体であるという原点に思いを致し、今後とも各種会議や懇談会をはじめ、日頃からのJA運営に対する積極的な対話・参画をお願い致します。

JAグループ北海道と共に「力強い農業の実現」と「豊かな魅力ある農村づくり」の実現に向け、本年度も事業展開して参りますので、組合員皆様のなお一層の事業への結集とご協力を重ねてお願い申し上げます。

理事会報告

第5回理事会（令和6年4月4日）

◆報告事項

1. 農業委員会総会報告について
2. 第二委員会の報告について
3. ALM委員会の報告について
4. ゴールデンウィーク期間の営業日程について
5. 監事報酬の配分について
6. JAバンク経営戦略シートについて
7. Aコープいまかね店改修2期工事の状況について

◆議決事項

- 議案第1号 檜山北部広域農業協同組合連合会の役員を選任について
- 議案第2号 各委員会委員の選任について
- 議案第3号 今金町農業委員の選任について
- 議案第4号 行政庁提出業務報告書について
- 議案第5号 理事報酬の配分について
- 議案第6号 貸付金の利率の最高限度について
- 議案第7号 一組合員に対する信用供与等の最高限度額について
- 議案第8号 同一人に対する信用供与等の最高限度額について
- 議案第9号 組合員以外の者に対する信用供与等の最高限度額について
- 議案第10号 組合員の資格審査について
- 議案第11号 余裕金の運用の方針及び運用方法について
- 議案第12号 役員責任賠償保険契約の締結について
- 議案第13号 役員規程の改正について
- 議案第14号 職制規程の改正について
- 議案第15号 専門委員会要領の改正について
- 議案第16号 JA今金町事業推進協議会要領の改正について
- 議案第17号 事務引継規程の改正について
- 議案第18号 文書管理規程の改正について
- 議案第19号 個人情報取扱規程の改正について
- 議案第20号 利益相反管理規程の改正について
- 議案第21号 コンプライアンス規程の改正について
- 議案第22号 災害対策計画（BCP等）の改正について
- 議案第23号 マネー・ロンダリング等への対応に関する規程の改正について
- 議案第24号 人事規程の改正について
- 議案第25号 給与規程の改正について

◆協議事項

1. 第56回通常総会の意見・要望について

新役員体制について

令和6年4月3日の第56回通常総会において次の通り役員を選任が行われ、同日に第4回理事会、第3回監事会を開催し役職について決定いたしました。

組合員の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



理事
境田 哲哉



常務理事
大場 倫夫



副組合長理事
仁木 明



代表理事組合長
小田島 親守



信用専任担当理事 兼 金融部長
荒川 英也



理事
中山 一浩



理事
本塚 晴看



理事
成田 正春



員外監事
船木 実



監事
谷崎 敏之



代表監事
水口 仁



退任役員表彰
山崎 仁 様



退任役員表彰
上野 義則 様

令和6年総会表彰

- 正組合員出資金全額譲渡者表彰
- 退任役員表彰

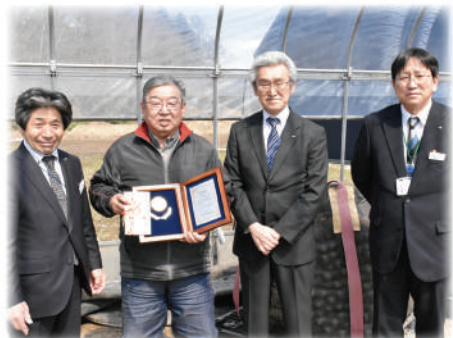
令和6年4月4日、小田島組合長より対象者の方々へ感謝状等が手渡されました。皆様の永年の農協事業への参画に心より感謝申し上げます。



正組合員出資金全額譲渡者表彰
山本 豊 様



正組合員出資金全額譲渡者表彰
大場 誠一 様



退任役員表彰
内ヶ島 祐一 様

令和5年度

優良耕作者の皆さまをご紹介します！

各生産部会では、収量・品質などに特に優れた生産者の方々を「優良耕作者」として表彰されています。日々研鑽され、それぞれの農畜産物の振興に尽力されている事に心より敬意を表します。

各部会の優良耕作者・成績優秀者の皆さまです。(敬称略)

【今金町稲作部会】

〈5ha 未満の部〉 竹内 章郎
〈5～10ha 未満の部〉 該当者なし
〈10ha 以上の部〉 山本 俊輔

【今金町種子馬鈴薯委員会】

杉林 範久

【今金町麦作振興会】

〈秋小麦の部〉 杉林 範久・大場 賢人
〈春小麦の部〉 黒須 寛之・土橋 龍二

【今金町酪農部会】

〈牛群平均乳量1万キロ達成記念牧場〉
湯元 宏牧場 山崎 良介牧場

【今金町畑作部会】

〈秋馬鈴薯の部〉 中野 孝之
〈甜菜・移植の部〉 矢野 健治
〈甜菜・直播の部〉 中野 勝広
〈白大豆の部〉 成田 正春
〈黒大豆の部〉 岸 徹也
〈大納言の部〉 渡邊 寛進
〈普通小豆の部〉 河田 孝幸

【檜山北部広域人参部会】

大谷 和明



今金町酪農部会は本年の総会で50回目の通常総会を迎えました



小麦優良耕作者表彰の様子
近年、小麦は栽培面積が増加しており、今後より一層の栽培技術等の向上が期待されます

地域協議会組織による地域営農維持にむけて

普及センター重点地区「金原・鈴金HS農業推進協議会」の活動経過

①金原・鈴金HS農業推進協議会について

本協議会の設立は、檜山農業改良普及センター檜山北部支所が「若手農業者による地域課題解決への方向性協議」を目標事項に掲げ、JA地区懇談会で重点普及活動及び協議会方式による活動を提案し、若手・中堅農業者との意見交換会で役員就任と試験展示ほ・各種調査への協力を打診。地域協議会方式での活動について賛同が得られたことから、令和3年3月に「金原・鈴金HS農業推進協議会」が設立されました。

目的達成のため6つの部会を設置し、役員と若手・中堅農業者のほ場で課題解決と新たな技術導入に向けた実証試験に取り組み、得られた成果を地区内に波及させるべく活動しています。

②意向調査、シミュレーションを実施

設立後は地域営農維持に向けた意向調査を実施し、将来の経営規模、共同作業の必要性などの意向を確認。重点地区（金原・鈴金）および隣接する豊田地区の5年、10年、15年後の農地と農家戸数の推移予測のシミュレーションを実施し、意向調査結果は協議会の役員会および現地研修会で報告・共有。シミュレーション結果に基づく今後の農地維持や労働力確保などについて、若手経営主と関係機関を交えて協議を行いました。

③地域課題解決手段の具体的提案へ

調査では、経営規模拡大・縮小希望の意向は「現状維持」と「10年後の状況は未定」が大半で、「維持・縮小」との回答理由は労働力不足でした。労働力確保が地域営農維持の課題であることが確認されました。

シミュレーションでは、15年後には意向調査地区の農家戸数が約半数に減少、また256haの農地が放出される見込みとなりました。農地維持と労働力不足対応に今後必要とされる取り組みについて役員会で意見交換を実施し、地域課題解決に求められる具体的な取り組みへの意識が高まりました。

若手農業者による地域課題解決への方向性協議 結果の考察

地域営農維持に向けた意向調査、今後の農地と農家戸数の推移予測のシミュレーション結果から、地域の現状と将来予測の具体的な数値による問題提起を行ったことが、地域課題解決に求められる具体的な取り組みに向けた意識向上につながったと思われます。

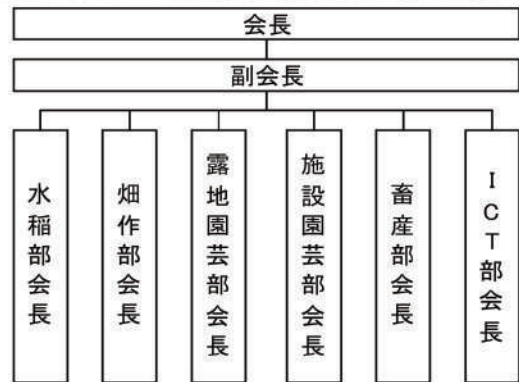
また協議には、毎回、町・JA 担当者の参加があり、地域の現状や農業者の意向・問題意識などを共有することができたと思われます。

今後の方向性

法人化・作業受委託・コントラ・機械の共同利用など、若手経営主による地域営農維持に向けた具体的な取り組みを検討していきます。



令和3年3月設立総会の様子



現地研修会



農地利用意見交換

【意向調査による推移予測】

令和6年1月1日 農家39戸（内：豊田10戸）
40代以下16戸（内：豊田3戸）



（役員会で協議された取り組み案）
現行の生産体制を維持

令和11年（5年後）

⇒40代以下 1戸あたり 14ha増加



（役員会で協議された取り組み案）
省力作物など作付け品目の見直し

令和16年（10年後）

⇒40代以下 1戸あたり 25ha増加



（役員会で協議された取り組み案）
法人化、共同作業、コントラ

令和21年（15年後）

⇒40代以下 1戸あたり 51ha増加

図 重点および豊田地区の農地と農家戸数推移予測（放出地：75歳で離農（後継者なし）農業者の農地）

ドローン請負散布で 適期防除・省力化

J A 今金町生産資材課ではドローンによる
農薬の請負散布をご紹介します。
詳しくは本号折込チラシ、または右記の
QRコードからご確認ください。



写真はイメージであり実際に散布するドローンとは異なります



農作業前にもう一度安全確認を！



年間の中で最も農作業事故の発生が多いのは、春作業が行われる4～5月頃と収穫期の9月頃です。

家族や農作業に関わるみんなで農作業事故のポイントを確認し合い、事故の無い1年にしましょう。

事故防止のための注意点（抜粋）

- 機械の修理・点検時は、必ずエンジンを停止させましょう。
- 機械に衣服などが捲き込まれないよう、作業に適した服装で作業しましょう。
- 作業を始める前には、農機具の整備点検を行い、安全な運転操作に努めましょう。
- 脚立やはしご等を使って作業する場合は、落下や転倒をしないよう、足場に十分注意しましょう。
- 事故が発生した場合に備え、家族同士でどこで何の作業しているか常に把握できるように習慣付けましょう。
- 道路の路肩や、圃場の出入口、傾斜地でのトラクター等の転倒、転落に十分注意しましょう。（万が一の場合に備えて、安全キャブ又は安全フレームを装着しましょう！）
- トラクター等で道路を走行する時には、反射板や低速車マークを取りつけ、後方から追突されないよう十分注意しましょう。

組合員・農業者の皆さまへお知らせです

【今金町鳥獣被害防止対策事業】

近年、ヒグマ・エゾシカの農地への出没が急増し、農業被害発生危険性が高まっていることから、今金町では自助努力によりヒグマ・エゾシカの農地への侵入を防止するための電気柵、発光機具、大音量等発生機具導入を支援しております。

- 受付期間 8月30日（金）まで ※ただし、土日祝日は除く
- 対象設備
 - (ア) 農地への侵入を防止するために敷設する感電式の防護柵、および設備稼働に至るまでに必要な通電装置・発電装置・危険表示板等の部品
 - (イ) 威嚇に供する発光機具、大音量等発生機具、および施設稼働に至るまでに必要な発電装置等の部品
- 支援措置 設備購入に要した費用の30%以内補助 補助金上限1人30万円
(※なお、JA今金町から15%相当を負担しております。)

お問合せ：今金町農林振興課 (82-0111)
担 当：中里・藤井・若林

※購入前には必ず今金町役場農林振興課に相談願います。

【大型特殊・けん引免許取得助成】

- 対象者 農業に従事している経営者及び家族または法人構成員等
- 補助率 1免許3万円（定額）で助成
(複数取得可)
- 実施期間 令和6年2月1日～令和9年1月31日（予定）
- 申請方法 (免許取得後) 領収証、免許証の写しを持参
- 申込先 JA今金町農業経営課

【今金町農業関連資格取得支援事業】

- 対象者
 - ・町内在住の農業者（経営者、後継者、法人構成員、家族従事者等）
 - ・新規で農業用ドローン免許取得する者（更新等は対象外）
- 補助率 町25%、JA25%（自己負担50%）
- 受付期間 令和7年2月28日（金）まで
※ただし、土日祝日は除く
- 申請方法 受講前に申請書を提出（金額がわかるものを添付）
- 申込先 今金町役場 農林振興課 (82-0111)
担当：中里、稲船

詳細はそれぞれの申込先へお問い合わせ下さい。

今金町ミニトマト振興会
育苗管理現地講習会を開催

今金町ミニトマト振興会は4月18日、山本智明会長のハウスで育苗管理現地講習会を開催しました。

講習会には生産者19名が参加。普及センターからは今後の栽培のポイントなどについて講習が行われ、ホクレン生産資材課からは暑熱対策に関する資材の紹介が行われました。昨年度のミニトマトは、8月の高温によって花飛びや着果不良が発生し、高温障害の影響は大きく収量は令和4年度との対比で10トン以上の減収となりましたが、販売単価については歴代2番目の高単価となり、目標としている販売高4億円を3年連続で達成しています。本年も厳しい暑さが予測されるため、体調管理には十分留意されるようお願い致します。



普及センターからの講習の様子

今金町麦作振興会
生育調査で茎数と今後の
管理を確認

今金町麦作振興会（会長宮本翼組合員）は4月5日、秋まき小麦の生育調査を実施しました。

調査は振興会役員・JA・普及センターなど関係者が集まり班に分かれて、ほ場の地図を見ながら現地を訪れ病気の発生状況や茎数を確認しました。小麦の茎数に応じて追肥を行う量を決定するため、最終的に収穫量を左右する非常に重要な調査となります。調査結果については即日、生産者の皆さんへ伝えられ今後の肥培管理に活用されます。

今金町の小麦全体の面積はここ10年で100ha以上増加し、農業経営に占める重要性も高まっており、さらなる生産技術向上や受入体制の整備等が求められます。



小麦の茎数を数える宮本麦作振興会長

水稲奨励品種決定現地調査
「粳まき」が行われました

4月19日、水稲の奨励圃（奨励品種決定現地調査ほ場）へ植えられる苗の播種作業が、今金町稲作部会の平原大輔副会長の倉庫で行われました。この調査は普及センターが毎年行っているもので、平原副会長に毎年協力いただき実施されています。当日は、普及センターとJA職員が育苗ポットに3粒ずつ種を手で入れていき作業が行われました。

本年は「ゆめびりか」「ななつぼし」「ふっくりんこ」「そらきりり」「上育485号」の5品種を調査ほ場で栽培。そらきりりは収量・耐病性に優れ、上育485号はふっくりんこの後継候補です。本調査により有望品種・道南現地での適応などが確認され活用されます。



育苗ポットに手で種を入れていく様子

NHK函館放送局
「今金男しゃく」の植え付け
作業が紹介されました

今金町早出し馬鈴薯振興会の芳賀健太会長のほ場を、NHK函館放送局のスタッフが4月13日に訪れ、特産品「今金男しゃく」の植え付け作業の様子を撮影しました。

昨年に引き続き猛暑など生育環境が心配される場所ですが、今金男しゃくを心待ちにしている消費者の皆様のためにも、無事に収穫される事が望まれます。忙しいなか、快く取材に対応頂いた芳賀会長とご家族に感謝申し上げます。

植え付け作業の様子は、4月18日の「NHKほっとニュース函館」で放送されました。放送の内容はNHKのWEBサイトでも公開されていますのでぜひ御覧ください。



作業の様子を撮影するNHKカメラマン



こちらのQRコードからご覧頂けます↓



豊穣の秋を祈って

豊穣祈願祭が執り行われました

陽光が差し込み、木々が新しい命を吹き込む新緑の季節がやってきました。4月4日、青空が広がるなか今金八幡神社においてJA役員・各部長が参列し豊穣祈願祭が執り行われました。

昨年は記録的な暑さの年となり肥培管理など大変苦勞の多い年となりましたが、JA役員一同、今年の豊穣の出来秋と組合員そしてご家族の皆様のご健康ならびに農作業安全をご祈念申し上げます。

ご存知ですか？ クミカンの明細・収支が その場で見られる サービスがあるんです！

その場で明細が見られる

※出カデータはソリマチ農業簿記用です。

簿記用の
データも出力
できて作業も
ラクラク！

クミカンデータ照会サービスはクミカンの明細や収支状況をパソコン・タブレット・スマホで確認等ができるサービスです。皆様ぜひご利用下さい。※利用料は年額 550 円 (税込)

お問合せは管理部管理課 (Tel82-0211) まで

わたしたちの財産 『今金男しゃく』 を守りましょう！

～ジャガイモシストセンチュウの
拡散防止にご理解・ご協力下さい～

男爵薯はセンチュウ抵抗性のない品種です。
先人から連綿と引き継がれてきた『今金男しゃく』
を守るためにもジャガイモシストセンチュウ拡散防止にご理解・ご協力をお願いいたします。

Aコープいまかね店 オンラインストア

全国に向けて今金町の産品をお届けします

2024年

産地
応援

今金男しゃく サポーター制度

全国のみなさんに親しみをもっといただけるよう名称変更しました♪

主催：JA今金町・今金男しゃく道民サポーターズクラブ



サポーター制度に登録頂くと、一口につき
この10点をセットにしてお届けします



今金男しゃく3kg
特別仕様「黒箱」入り



今金男しゃくポテトチップス
うすしお味・のり塩 各1袋



レトルトご飯「今金濃米」
ふっくらんこ
ゆめびりか
各1個
ななつぼし (200g×3個)



今金男しゃく黒毛和牛カレー
合計4個 (2種類×各2個)

参加料 (税込・送料込)

限定 800 口

- ・道内発送 一口 6,500 円 ※参加料は 2024 年
- ・道外発送 一口 7,000 円 単年の金額です。



←今金男しゃく道民サポーターズクラブの
ホームページからお申込みいただけます。

今金男しゃくサポーター制度が目指すもの

JA今金町では60年以上にわたり、ジャガイモのトップブランド「今金男しゃく」を生産・販売しています。令和3年6月、産地からの情報発信・産地消の促進を目的として「今金男しゃく道民サポーターズクラブ」を設立。「もっと今金男しゃく食べて欲しい、今金町を知って欲しい」という想いでこの取り組みを開始しました。

全国的に農業者人口が減少するなか、国産ジャガイモの生産量も減少してきています。今金町においても高齢化や農業者の減少が進んでおり、地域を支えてきた農業者の皆さんが「今金男しゃく」の生産をはじめ持続的に安心して農業を行い食料の生産を続けていくには、その為の仕組みが必要です。JA今金町ではその一環として、この制度を通じて産地を知り産地消に繋げ、農村が持続していける好循環の一助にしたいと考えています。

昨年に引き続き、場所や人数が限定的とはなりますがサポーターの皆様との交流の場も札幌市で開催予定です。

また、今年度よりサポーターの皆様だけに頒布します「今金男しゃく規格外品 (10kg)」が注文いただけます。ただ単に「商品を販売する」という事ではなく、一緒に今金町を、今金男しゃくを支え盛り上げて欲しいという想いを「サポーター制度」という言葉に込めています。

サポーターだけのうれしい特典

抽選で
特典① 「今金男しゃくフォーラム & スープカレーパーティー」
にご招待

※2024年11月3日(日・祝)札幌市にて開催予定。
※抽選にてご招待となります。
※参加費大人500円 お連れ様で小学生以下のお子様無料。

サポーター限定
ここでしか手に入らない
特典② 今金男しゃく規格外品 10kg
送ります
道内 2,900 円・道外 3,400 円
(いずれも税込・送料込)

※規格外品のため正品とは異なり、形状(丸さ)や外観(傷など)の品質が劣ります。また、発芽や中心空洞がある場合もございますのでご了承のうえご注文下さい。